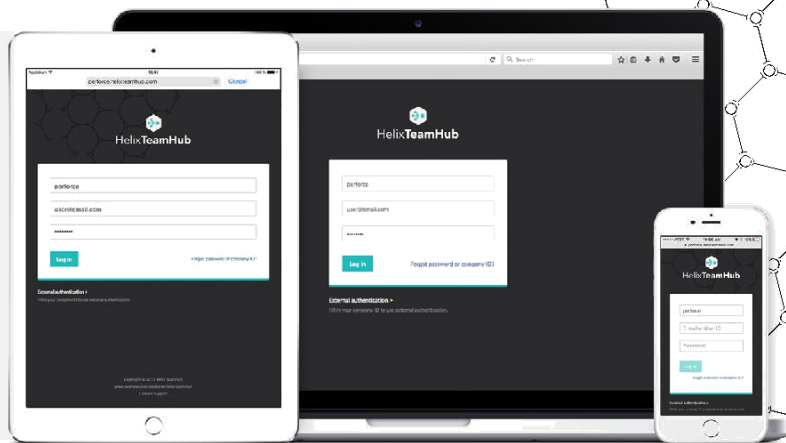


製品概要

多種多様なリポジトリの直感的な管理と Gitをはじめとした VCS とのコラボレーション

Helix TeamHubは、ソースコードやビルドアーティファクトなどの多彩なリポジトリに対応する、唯一のリポジトリ管理ソリューションです。コードレビューや開発者のコラボレーションにおいて、直感的かつ簡単に操作できるインターフェースを備えたHelix TeamHubは、Perforceクラウド上に構築したり、Helix TeamHub Enterpriseを用いて自社のサーバに展開したりすることができます。



多様なリポジトリのサポート

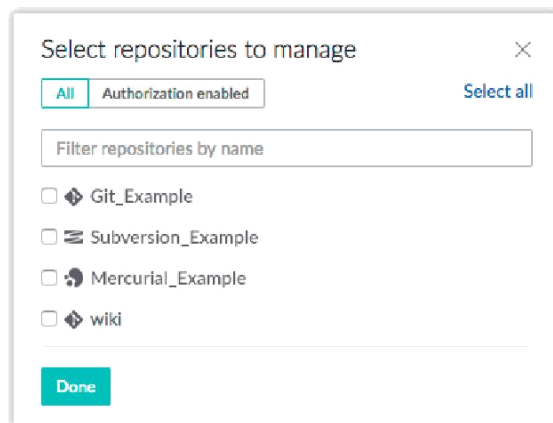
Helix TeamHubは、個人から小規模チームやエンタープライズ規模の組織に至るまで、多彩なリポジトリやリポジトリタイプを使用するプロジェクトにおける、これまでにない迅速なコラボレーションを実現します。サポート対象のリポジトリは以下のとおりです。

- ソースコード用：Git/Subversion(SVN)/Mercurial(Hg)
- ビルドアーティファクト用：Maven/Ivy
- ドキュメント/HTML/画像用：WebDAV

簡単なコードレビュー&コラボレーション

Helix TeamHubを利用すれば、簡単なブランチベースのワークフローで、すべてのコード変更を漏れなく容易にレビュー/承認することができます。さらに、そのワークフローには自動ビルド/テストを組込むことも可能です。また、次の機能を活用し、さまざまなリポジトリを取り扱うプロジェクトにおいて、チーム間のコラボレーションを円滑に行えます。

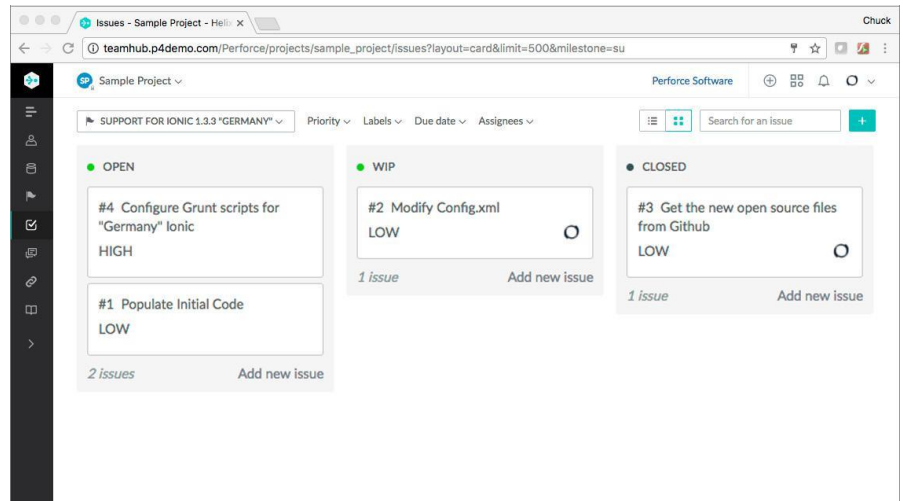
- 標準搭載のWikiを利用したプロジェクトごとのドキュメント作成やファイル共有
- コードを閲覧しながら作業全体の把握や進行中の作業の確認



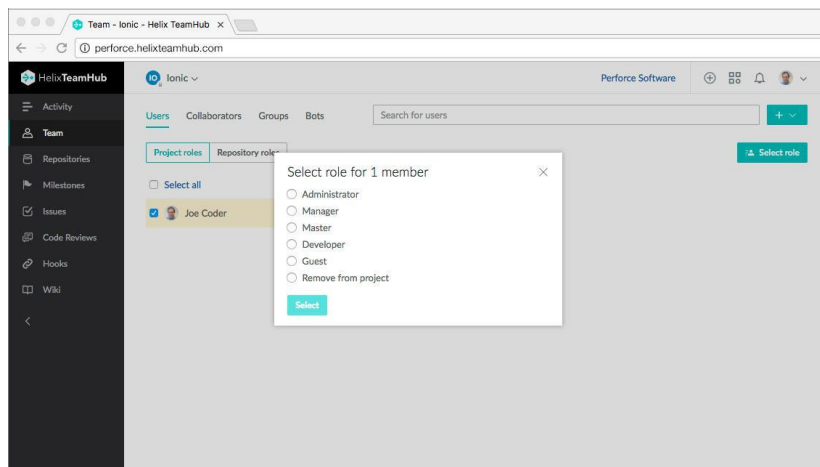
Helix TeamHub における多種多様なリポジトリ管理

- プロジェクト、ファイル名、コミット時のコメント等の項目ごとに行える、Gitリポジトリ全体に対するコード検索
- アジャイルワークフロー向け“かんぱん方式”の課題追跡

JenkinsやTeamCityなどのCI/CDツールをすでにお使いですか？ Helix TeamHubであれば、追加設定なしに、定評のある75以上のツールとの連携を可能にする、いくつものフックを備えています。



Helix TeamHubのかんぱんボード



Helix TeamHubにおけるユーザの権限設定

ユーザ権限を自由に細かく設定

シングルサインオン(SSO)やユーザ管理の移管機能を持つHelix TeamHubを導入すれば、開発チームは自分たちでプロジェクトの管理ができるようになるので、IT部門にユーザの追加や権限の設定などを依頼する必要がなく、すぐに作業に取り掛かれます。

Helix TeamHubのリポジトリおよびブランチレベルでのアクセス管理には、プロジェクトやコードをセキュアに保つために、6つのロールと8つの権限レベルが用意されています。これにより、例えば、参照範囲に制限のあるCollaboratorアカウントを利用することで、安心して外部の関係者にも開発環境へのアクセス権を付与できます。

Helix TeamHub Enterprise について

Helix TeamHub Enterpriseは、オンプレミスでの運用を希望するユーザ向けのオプションです。Helix4Gitが実装されており、CI/CDにおける高いビルドパフォーマンスを実現します。Helix TeamHub Enterpriseは、むやみに複雑なツールを追加することなく、Gitリポジトリにおけるビルドプロセスを簡素化し、加速させます。

複数のGitリポジトリの同期や、Gitクライアントからのデータの複製を迅速に処理することで、Helix TeamHub Enterpriseは、各チームが地理的に分散した環境下で開発する場合であっても、最初のチェックアウトと更新作業に要する時間を短縮し、開発者の生産性向上に貢献します。

まずは無償の評価版をお試しください

Helix TeamHubは、最大で5ユーザ、1GBまでのデータ量であれば、無償でご利用いただけます。
詳しくは、東陽テクニカの[ソフトウェア・ソリューション](#)まで、お問い合わせください。